

第8回府中市学校教育プラン検討協議会会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和3年9月27日（月） 午後7時～午後8時
- 2 開催場所 府中市立教育センター会議室
- 3 出席者 11名（50音順、敬称略）

委員 赤 岩 直	委員 上 村 貴 子
委員 菊 山 直 幸	委員 倉 林 徹
委員 小 林 陽 子	委員 関 修 一
委員 関 根 滋	委員 田 中 洋 一
委員 高 橋 純	委員 中 村 圭 佑
委員 山 口 真佐子	
- 4 欠席者 1名（敬称略）

委員 吉 田 修

- 5 出席説明員等

教育長	酒 井 泰
教育部次長兼教育総務課長	矢ヶ崎 幸 夫
教育部副参事兼指導室長	並 木 茂 男
教育総務課長補佐	矢 島 彩 子
学校施設課長	町 井 香
学校施設課長補佐	遠 藤 勝 久
学務保健課長	佐 伯 富 丈
給食センター所長	谷 本 耕 一
給食センター副所長	大 木 忠 厚
指導室主幹	目 黒 昌 大
統括指導主事	菅 原 尚 志
文化生涯学習課長	二 村 善 久
教育総務課係長	元 田 佳奈子
教育総務課主任	徳 永 昭 子
教育総務課事務職員	森 菜 摘
- 6 傍聴者 なし
- 7 議事日程
 - (1) 第7回会議録（要旨）の確認
 - (2) 答申内容の確認
 - (3) 答申
 - (4) その他

■会議録（要旨）

○会 長 それでは、定刻になりました。ただいまから、第8回府中市学校教育プラン検討協議会を始めます。

今回も緊急事態宣言中の開催となります。ぜひ円滑な会議運営にご協力のほどお願いいたします。一応8時半を目途ということにしておりますので、ご協力いただければと思います。

まず、事務局から、本日の委員の出席状況を報告してください。

○事務局 吉田委員は欠席しておりますが、委員12名中11名の委員にご出席をいただいておりますので、本日の協議会は有効に成立しております。

○会 長 本日の会議は有効に成立しているとの報告がございました。

続いて、事務局から本日の傍聴希望の状況を報告してください。

○事務局 昨日までに申出がなく、傍聴希望者はなしでございます。

○会 長 本日は、傍聴希望者なしとの報告でございます。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、本日の配付資料について、事務局から説明をしてください。

（事務局から資料の説明）

○会 長 皆さん、不足している資料はございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、続きまして、次第の2「確認事項」（1）として、前回の会議録の確認についてです。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 前日までにご意見や修正点等のご連絡はございませんでした。

○会 長 事務局には前日までに連絡なかったとのことですが、前回もかなり細かいことを議論し合いましたので、もし落ちているところがあれば、今、申し出ていただきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、第7回協議会の会議録の内容をこれで確定したいと思っております。事務局は、速やかに公開手続を行ってください。

次に、次第の2の「確認事項」の（2）に移ります。事務局から説明をしてください。

（事務局から資料に基づき説明）

○会 長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありました。

資料は9月22日付で送付されておりましたけれども、答申書のかがみ文と素案について最終確認をしていただきたいという事務局からの依頼でございます。

まず、資料8-2鑑文でございます。府中市教育委員会教育長酒井泰様宛ての文章でございますが、一応協議会の代表として私の名前になっておりますけれども、皆さんの総意ということで、この文章でよろしいでしょうか。

それでは、これはお認めをいただいたということにしたいと思います。

素案につきましては、今、説明がかなりたくさんありましたが、まず、黄色で網かけがしてあるところが直ったところということです。

ただ、事務局の中で、これは直せませんでした、直っていませんというのが2か所ぐらいあったと思うんですけれども、説明を加えていただけますか。直っていないというのは分かったんですけど、なぜ直っていないのかということについて、まず、何か確定しないものがあるとか、何かそういうことでしょうか。もう一回そのところを詳しく説明していただくとありがたいかなと思います。もう一回、何ページの何行目とかおっしゃっていただけますか。

○事務局 1点目は、33ページにございます指標、全国学力・学習状況調査における正答数分布の状況についてですが、前回、委員からだったと思うんですが、無答率について、成果資料として加えたほうが、考えてもいいのではないかというご指摘いただいたところですが、全国学力・学習状況調査の結果では、無答率は図ることは可能ですけれども、A層、B層、C層、D層と見たときに、D層の中に当然無答率、無答の状況というものが加味されていることや、また、無答というのは、記号選択式の場合に、当てずっぽうでも無答の状況というのがクリアされてしまうような状況を考えますと、前回の委員からのご意見のように、C層、D層の割合を見ていくことが重要ではないかと考えているところであります。

○会長 要するに、精査中と書いてあり、今回反映されてないっていうことは、今何か作業が進行中ということに理解していいですか。そうすると、例えば、正式な答申といいますか、そこには反映されてくるのか、それとも、そもそもそれが不可能なのかどうか、ちょっとそこら辺を教えてください。

○事務局 失礼いたしました。実際の全国学力・学習状況調査の結果について、府中市の結果ですが、このA層、B層、C層、D層の各年度の結果について、きちっとその割合の状況というものを調査といいますか、見なければならぬというふうには思っております。

○会長 ということは、今回の答申には、それを間に合わせて調査するという意味ですか。

○事務局 現状値につきましては、きちっと計算をしないと出てこないところですので、そこはやらなければならないというふうに認識はしております。

○会長 じゃあ、今日は間に合わないけれども、数値は入れるという答弁でよろしいですか。

○事務局 はい。そうご理解いただけたらと思います。すいません。

○会長 ちょっとそこを確認したかったのです。結局、今日が最終ですので、今できていませんというものについては、どういう扱いなのかをちょっと聞きたかったんです。もう一か所ありましたよね。どうぞ。

○事務局 47ページの同じく成果指標でございまして、指標の説明について前回、何回かご意見いただいているところでございましたが、よりよい説明、また、指標の

内容がどういったものが合っているのかが、まだ現時点において事務局の中で整理ができていない状況でございますので、本日の答申につきましては、この資料で説明させていただきたいと思っております。今後、最終的な策定までの間に、よりよい説明文等が見つかった場合には、修正をさせていただくことができると考えているところでございます。

○会 長 実際に、途中でパブリックコメントがございますよね、市民の皆さんに見ていただく段階までには入る見込みなのでしょうか。それとも、このまま行く形なんでしょうか。すいません。一応好意的な質問のつもりだったんですけども、要するに、未確定のままちょっと承認できないので、いつまでにこの数値が入るといふようにおっしゃっていただければいいかと。あるいは、集計不能であれば、もうその欄を取ってしまうという手もあるので、そこについてちょっとお聞きしたいなというふうに思います。

○事務局 すいません。現状値、令和2年度の未調査というのは、前回、委員のほうからご助言をいただいて、このままでいいかと思っているんですけども、一方で、この指標の「タブレットを使用した授業の学年別、教科別の実施率」というところの説明文がこのままでいいのかどうかというのを、もう少し内部で議論、検討をしたいというふうに考えているところでございます。

○会 長 ということよろしいでしょうか。未調査というのは、この間の会議で委員のほうから説明がありまして、皆さんで了承したところだと思いますので、決して途中経過ではないと思いますけれども、よろしいですか。

そのほか、事前に皆さんからのご意見はなかったようでございますけれども、今日、最終でございますので、改めて見ていただいてご意見がありましたら、またよろしくお願いたします。委員、お願いします。

○委 員 すいません。長らく欠席してしまいまして申し訳ございませんでした。

実際このタイミングで反映できるかどうかというのは、ちょっとさて置いてだと思んですが、50ページの5章、第2節 計画の進行管理というところ、こちらは、前回の会議でもあまり議論なされていなかったようでしたので、ちょっと感じたことをコメントさせていただければと思っています。

第2節、7行目、「これまで同様の自己評価も行い」という記載で答申をするというところに少しちょっと弱さを感じておりまして、といいますのも、これまで教育委員会で評価を行ってきた資料が、第2回の会議資料にあるのがそれなのかなというふうに見受けてるんですけど、「令和元年度における府中市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に係る報告書」というものかなと認識します。それを見ると、定量的な指標設定がされていないにもかかわらず、教育委員会の各結果報告ですとか、自己評価では数値を上げているというものも散見されてまして、数値目標を設定できるんじゃないかみたいな感じで、要は、たくさんあるというところなんですね。そんなような状況で、年度評価を常に受けてるということですので、あえて「これまで同様の」というような記載があるというところに、ちょっと違和

感がございます。

また、その下の図ですね。「Plan」「Do」の間のところに「毎年度、計画を立てる。数値目標の設定が可能な取組は、数値による評価を行う」という、この辺はぜひやってもらいたいなということなんですけども、この表現が「これまで同様の自己評価も行い」というところと、ちょっと齟齬があるのではないかなということなんです。明らかに数値目標を立てるようなものについても、立てていないというのがちょっと見た限りございましたので、この表現は何とか調整ができればいいなというふうに感じました。例えば、職員の方の働き方改革ですね。この資料の61ページにも例で挙げられてますけれども、61ページ、「取組名19、教職員の労働環境の改善（働き方改革への対応）」というところでは、実施目標として書かれてるのは、働き方改革プランを推進する、夏季休業日に合わせて連続5日間の勤務を要しない期間を設定するとしか書かれていないですね。具体的に何時間をどうしますとか、設定できるはずなのにしてないよねみたいなのがちょっと見受けられたので、この辺りは、ぜひ下の図に沿ったような表現にするという意味で、「これまで同様の」というところをぜひ落としていただきたいなということが1点でございます。

その流れで、ちょっと。

○会 長 1個ずつ切ってよろしいですか。

○委 員 はい。じゃあ、そこで。

○会 長 自己評価の件、この際、充実するのであれば、「これまで同様に」という表現はないほうがいいのではないかなというようなご指摘だと思いますけれども、いかがでしょうか。50ページの下から4行目ですね。お願いいたします。

○事務局 PDCAサイクルに基づいた進行管理のところ、今、委員から頂戴したご意見ですけれども、今度の本プランにおける進行管理に関して、13ページの「施策推進の視点と取組の関係」の下から4行目のところに「全ての取組に対して目標数値を設定することができないため、成果指標の設定できない取組については、取組内容についての目標を設定し、引き続き自己評価を行っていきます」と記載しています。この趣旨を踏まえて、先ほどご指摘をいただいた箇所を作文しているところではあるんですけども、「これまで同様の」というところを取ったほうがよろしいのではないかなというご意見頂戴しましたので、「これまで同様の」というところを削除すること、いかがでしょうか。

○委 員 ありがとうございます。示していただいたところ、13ページは、私もこちら読んでいたんですけども、裏に書いている施策1、2、3に関するイメージなのかなというふうに読んでまして、50ページのほうは、「今回各施策において設定した成果指標を活用しつつ、これまでの同様の自己評価も行い」というので、「これまで同様の自己評価」というところが、そのかなり下の段階の評価を行うということ、読んで次第です。そういったことの差がないようであれば、このような表現で落としていただければ結構でございますということと、じゃあ。

○会 長 そこまでをちょっとまとめますね。本日が最終回ですので、まとめられる

ものはまとめたと思いますが、「成果指標を活用しつつ、自己評価を行い」ですかね。「も」じゃなくて、「自己評価を行い」というふうにつなげていけばよろしいでしょうか。委員、よろしいですか、それで。

○委員 はい。私はそれで。ありがとうございます。

○会長 事務局もよろしいですか。では、そのように直していただいて。2点目を委員、お願いします。

○委員 ありがとうございます。

2点目といたしまして、第2節の一番最後の段落ですね。ちょっとこの記載の実際の運用方法がちょっと分からないので、質問というような形でございます。総合計画のほうでは、それぞれ事務事業に対して指標が示されて評価をされてると思うんですけども、あえてこの総合計画、「施策評価も活用し」っていうような記載があるんですが、今回、総合計画と期間を合わせるのか、いろいろ当初ご説明があったかと思うんですけども、これまで総合計画とリンクをした指標の評価はなされてないというふうに見受けてるんですが、今後は、今回合わせたというのものもあるので、それが合わせて行われているというような理解でよろしいんでしょうかという確認です。

○会長 事務局、お願いします。

○事務局 今のご質問ですけれども、総合計画の評価と合わせた方法で検討しております。

○会長 よろしいですか。

○委員 ありがとうございます。じゃあ、ちょっと意見だけ申し上げさせていただいてもよろしいですか。ありがとうございます。

その総合計画上の指標なんですけれども、ちょっと事務事業の指標とかを見ると、少し甘いなというところが見受けられてまして、ちょっとどんなふうにどなたが設定されてるのか分からないなというところなんですけれども、例えば、事務事業として、学校給食の施策、事務事業じゃないですね。学校給食の施策では、高い衛生管理、安全・安心、アレルギー対応などがうたわれて、今回、教育プランでもアレルギー対応のことがしっかり落とされているんですけれども、それに対する成果指標としては、市内農産物の使用割合というのしか上げられていなかったわけなんです。そうすると、農産物を使うことだけで、衛生管理ですとか、アレルギー対応の取組がどれだけ図られるのかっていうのはちょっと疑問がございまして、本来なら、例えば、給食での食中毒発生件数がゼロですとか、アナフィラキシーの発生件数がゼロですとか、そういう指標を立てるべきだったんじゃないかなというふうに見受けまして、今回改めて総合計画とリンクした評価を図るっていうことなので、指標設定自体が事業の目指すもの、そのものになるかと思しますので、しっかりと個別に設定していただければなという、これは要望でございます。

以上です。ありがとうございます。

○会長 今、委員の要望を事務局のほうは受け止めていただきたいと思います。この答申の文言としては、これでよろしいということですね。

他にございますでしょうか。もう皆さん飽きるほどたくさん何回も読んでいただいたと思いますので、特になければこれでまとめていきたいと思います。ありがとうございました。

それでは、最後のまとめになりますけれど、今、1か所訂正させていただきました。それから、課題としてパブリックコメントまでには改正される部分もあるということを含めまして、この素案でございますけれども、了承するというところでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、これで素案の（案）を取りまして、今日、本日付けで答申とさせていただきますと思います。

では、続いて、答申について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 次第3の答申は、会長から教育長に答申書をお渡しいただく予定となっております。教育長にお渡しいただく答申書の調整や、教育長にお越しいただくのに若干時間が必要ですので、10分程度お時間をいただきたいと思います。

○会長 それでは、今、事務局からそういう要望ございましたので、あちらの時計で7時40分に再開をしたいと思います。10分間休憩ということでよろしく願いいたします。

（休憩）

○会長 それでは、協議会を再開いたします。

次第3、答申に移ります。事務局、お願いいたします。

○事務局 それでは、田中会長から酒井教育長へ府中市学校教育プランについて答申をお願いいたします。

○会長 府中市教育委員会教育長酒井泰様、府中市学校教育プラン検討協議会会長田中洋一。

府中市学校教育プランについて。答申。令和2年10月26日付2府教第137号で諮問のありました事項について、次のとおり答申いたします。

第3次府中市学校教育プランの素案については、別添のとおりです。つきましては、本素案及び協議会での意見を踏まえて、プランの策定をお願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。それでは、ここで、酒井教育長から委員の皆様へご挨拶を申し上げます。酒井教育長、お願いいたします。

○教育長 皆様、改めまして、こんばんは。ただいま紹介にありました教育長の酒井でございます。教育委員会を代表いたしまして、委員の皆様方に一言御礼を申し上げたいと思います。

昨年10月26日の第1回、このとき諮問をさせていただいたんですが、このときは私の前任の浅沼教育長からだったと思いますけれども、浅沼教育長からの諮問の第1回から本日まで合計8回にわたりまして、田中会長をはじめ委員の皆様には、お忙しい中、本協議会にご出席いただきました。毎回熱心にご協議をいただきまして、

大変貴重なご意見を頂戴するなど、新しい学校教育プランの作成に当たってご尽力を賜りましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

今後、頂戴いたしました答申書を基に、本市の教育施策を一層推進し、さらに関係諸機関との結びつきがより強固なものとなるような学校教育プランとしてまいりたいと思っております。

結びになります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、緊急事態宣言も数回にわたり期間が延長されるなど、大変厳しい状況の中ではありましたが、皆様のご協力により無事に協議会が運営されたことに改めて感謝申し上げますとともに、委員の皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を祈念いたしまして、誠に簡単ではございますけれども、挨拶とさせていただきます。本当に長い間、本当にありがとうございました。

○事務局 酒井教育長、ありがとうございました。それでは、田中会長、よろしくお願いたします。

○会長 それでは、次第4その他のところに入りたいと思います。

私のほうからも一言御礼を申し上げます。

今、ご覧いただきましたように、無事答申をお渡しすることができました。これによりまして、令和4年度から約10年にわたります府中市の教育の根幹となります計画の素案を、作成してお渡しすることができました。これも皆、委員の皆様から大変貴重なご意見をいただくことができたことの賜物だと思っております。また、事務局の方の献身的な進行によりまして、つつがなく終えたことを大変感謝いたします。大変会長としては至らない点がたくさんございましたけれども、皆さんに支えていただきまして、何とか無事終えることができました。ありがとうございました。

それでは、最後でございますけれども、よろしければ、委員のお一人ずつに感想などお聞きしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。席順ということで、赤岩委員からよろしくお願いたします。

○赤岩委員 赤岩でございます。私からは、感想というよりは、皆様に本当に教育委員会の一人として、丸一年、本当に、まさにコロナに始まって、まさか一年もこのような状態が続くとちょっと思っていなかった中での計画策定に、本当にご尽力いただきまして誠にありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

個人的な感想といいますか、感じたことですが、皆さんにご意見いただき、事務局として素案を作る中で、やはり一つ表現をちょっとこういうふうに改めてもいいんじゃないかとか、この文言をちょっと変えるだけでもいいんじゃないかということをご指摘いただいて、改めてそれで読み直してみると、文章が締まるっていうんでしょうかね。筋の通った文章になるし、理屈がきちっとできてくる、一つ一つだんだんできていくというのが本当に手に取るように分かると思いますか、感じましたので、これは私も教育部の職員として、教育委員会教育部の職員として非常に勉強になったポイントでございます。

また、委員の皆様の本当に幅広い知識、最新の情報、それから、これから先も国の

動きだとか、そういうことも含めた考え方などのご意見を頂戴して、そういう部分も少なからず反映することができたのかなというふうに思っております。

今から考えると、この計画の前は8年前ですから、平成26年ぐらいになるかと思うんですが、ちょっと私勉強不足なのですが、その頃はGIGAスクール構想という言葉がなかったんじゃないのかなと。また、感染症のことがこれだけ話題になることはなかったと思っております。そういった中で、やっぱりこれから先8年間を見据えていくのは本当に難しいなというふうに、行政の立場から感じました。ただし、本当に教育行政の一番基本となっていく最上位になる計画とあって、私委員として非常に意見を申し上げることができない、できないというか、申しあげるレベルにないんですけども、非常に私個人はすごく勉強になりました。本当にどうもありがとうございます。ちょっと話長くなりましたけども、改めてお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

○上村委員 ありがとうございます。約1年間こちらに関わらせていただいて、教育委員会の皆さんのすばらしい案ですとか、会長の進行とか、大変勉強になりました。ありがとうございます。そして、一保護者として、このようにいろんな多方面から子供たちのことを考えてプランを作ってくださっているんだなということを改めて知りまして、府中市ってとてもいいところで子育てできてたんだなというのを、振り返ってですけれども、感じることができました。

また、本当皆さん方のすごい文章の読み込み方だったりとか、いろんな知識を教えていただくことができて、私もこの一年すごく勉強になりました。どうもありがとうございました。

○菊山委員 どうもありがとうございました。私も学校現場を離れてもう10年ちょっとたつのですが、本当にいい緊張感を持って毎回この会議に出ることができました。

実は、前回のプランのときに少し関わったものですので、それがあって、何かやり残したことがあるような気がしていたものですから、今回参加させていただきました。先ほどお話がありましたけども、毎回来るごとにブラッシュアップされて、プランがどんどん充実してくる、中身が濃くなっていく、そのことがとても楽しみでした。

今後は、この委員会での委員の方々の気持ちをいかに学校の先生方に伝えていくか、それを、ぜひ教育委員会としては大事に大事にさせていただきたいというのが、ひとつ願いです。

あと、やはり教育行政というのは、最終的には人と金だと思っています。これを引っ張ってくるのも教育委員会の大きな仕事だろうと思っていますので、期待をしています。

最後ですが、答申の7ページの地図を見ると、今後の学校の規模のことも書いてあります。夢かもしれないですが、例えば、府中市の真ん中には京王線が走っています。でも、ぐるっと、モノレールか何かで市内を回れるような交通機関ができると、周りの小規模校の課題も解決するのに、なんて思って、ずっと眺めていました。いろんな夢をかなえられる、そういうのを大事にさせていただければと思っています。ありがとう

ございました。

○倉林委員 すいません。倉林です。自分はちょっと頭がそんなによくないので、この案を見て、すごい追いついていくのがもう大変で、理解するのが大変だったんですけれども、ただ、皆さんの話を聞いている間に多少なりとも理解させていただいて、すごくいい経験をさせていただきましたし、自分的にも成長させていただいたと思います。なので、今回この会議に携わっていただいた皆様に厚く御礼申しあげたいと思います。ありがとうございます。

○小林委員 私も、まずは最初にお礼を申しあげたいと思います。副校長代表としてこの場に参加させていただいて、本当に私も最初の頃、文言のことをいろいろとよく分からなくて、どこまで私は参加できるかなという不安な気持ちでいっぱいだったんですけれども、新しいことをお聞きしたりして、とても勉強になりました。

前回、特別支援教育のプランに関わらせていただいたときは、本当に何も発言できず、そのときに願っていた小さいときからつなげていくような支援というところを、今回30ページに入れていただいて、とてもうれしく思っております。本当にありがとうございました。

○関委員 第一小学校の校長、関でございます。小学校の校長会を代表して参加をさせていただきました。私のほうも本当にありがとうございました。現場をあずかる者として、こういうプランの作成に携われるっていうのが、本当に価値のあることだなんて思っています。

私たち現場の教員は、施策1の部分を中心に頑張っていくしかないんですけども、実はその裏には、やはり施策2、施策3のような教育を支える部分というのが非常に大きいというのは感じています。特に感染症が流行し出してから、非常に厳しいご家庭も多くなってきたんじゃないかなっていうのを感じているところですから、その辺りを担保できるような教育プランがこのような形で作成できたっていうのは、本当によかったなと思っています。皆さん、本当にありがとうございました。

○関根委員 文化スポーツ部長の関根です。私のほうも最初に皆さんに、ありがとうございました。私は文化スポーツ部長ということで、その点から参加させていただきました。あわせて、今度このプランができるとなりますと、共に進めていく立場になりますので、皆さんにいただいた意見をしっかり受け止めながら、業務を進めていきたいと思っています。

あと、最後に、この皆さんにいただいた意見というのは、私のほうの事業にも生かせるものだと思っていますので、これについてももしっかり生かしていきたいと思っています。どうもありがとうございました。

○高橋委員 東京学芸大学の高橋でございます。このたびは大変ありがとうございました。度々中途半端な発言をしてしまいましたが、田中会長をはじめ、事務局の皆様の上手なお取りまとめのおかげで成果が得られたんじゃないかなというふうに思っております。

私自身はいろいろ感じるがあります。とにかく今のコロナ禍であるとか、G I

GAスクール構想であるとか、この後始まるであろう小学校教科担任制であるとか、免許更新制の発展的解消ということで、実は今日、そっちも審議のまとめの中教審が昼間にあったんですが、大幅に研修の形が変わることが予定、予想されます。そう考えますと、我々何年も先を見据えて知恵を絞ったわけなんですけど、多分これもそんなに長く通用しないときが来るんじゃないかなというふうに思っています。特に評価指標に関しては、非常に教育っていうのが複合的で総合的な営みだと考えております。その一方で、評価指標というのは非常に針のように細くて、部分的なところだと思いますので、評価指標とかにとられることなくと言うと難しいんですけども、非常に幅広に、評価指標を作るぐらい枠組みが変わっていく可能性も非常にあるなというふうに思っています。柔軟にやっていくということが非常に大事になってくるんじゃないかなと、作った後に言うのもなんですけど、そんなふうにも感じているところでございます。いずれにしても、変化の激しい時代に合った、子供と直接関わる先生たちの元気と創意工夫を保障していくっていうのが、外側にいる私の役目かなというふうに思っておりますので、引き続きこういった面で頑張っていければというふうに思っております。このたびは、どうもありがとうございました。

○中村委員 中村でございます。まずは、皆様、本当にありがとうございました。毎度毎度、非常に長い発言をして、進行に多大なご迷惑をおかけしたのかなと思ってる所なんですけれども、このプランの期間、私の子供がずっと、プラン期間中ずっと小・中学校でお世話になり続けるというところもございますので、だいぶしっかりとらせていただいたところでございます。

また、事務局の皆様にもだいぶ無理を申し上げてしまいましたけれども、本当に申し訳ございませんでした。

今日、このプランの検討委員会の任期が終わるというところなんですけれども、今後引き続き、私も保護者としてこのプランに関係できるような、例えば、家庭との連携といった部分とかも含めてですね。積極的に関わらせていただこうと思っておりますので、今後も何かしら学校教育に関わっていきたい、いければなというふうに思っております。本当に、皆様、ありがとうございました。

○副会長 ありがとうございました。私は、委員の皆様が毎回素案を非常にきめ細やかに読み込まれて、そして、本当に田中会長の見事なリードのもとに熟議が重ねられて、おかげさまでというか、本当に今日の教育課題を、その中の主要テーマを全て網羅した充実したプランが練り上げられたというふうに思っております。もう事務局の皆様との並々ならぬご尽力もあったろうと思っておりますけれども、私自身は本当に皆様のご意見一つ一つ拝聴させていただいて、非常に得るところ多く、勉強になりました。本当にありがとうございました。

○会長 どうも皆さん、ありがとうございました。

以上をもちまして、第8回の府中市学校教育プラン検討協議会を閉会いたします。これをもちまして、私と山口副会長、これで正副会長の任を終了させていただきます。以降は、事務局に引き継がさせていただきます。

改めまして、もう一度重ねて申し上げます。委員の皆さん、事務局の皆さん、本当にありがとうございました。

○事務局 田中会長、山口副会長並びに委員の皆様には、長期間にわたりご尽力をいただき誠にありがとうございました。府中市学校教育プラン検討協議会を終了するに当たり、教育部次長から皆様にご挨拶申し上げます。

○教育部次長 改めまして、事務局を代表してお礼とご挨拶を申しあげさせていただきます。

先ほど教育長のほうからもお話がございましたが、先ほど頂きました答申につきましては、今後、パブリックコメント手続きを踏まえまして、本市教育委員会の新しい計画とした後に、府中市教育委員会、そして府中市の市立学校、地域、家庭、関係機関等と連携して推進をしてまいりたいと考えております。

また、本協議会でいただきました大変貴重なご意見や、厳しいご指摘もございましたけれども、そういった内容につきましても、第3次府中市学校教育プランだけではなく、今後の府中市における教育行政全般を推進していくに当たりまして、ぜひともしっかりと受け止めさせていただき、参考とさせていただきたいと考えております。

最後になりますけれども、繰り返しで恐縮でございますが、本当に委員の皆様には一年間にわたり、またコロナ禍の中、多大なるご尽力、ご協力を賜りまして本当にありがとうございました。どうもありがとうございました。

○事務局 最後に、事務局から1点ご連絡いたします。本日の会議録につきましては、3週間後をめぐりにお送りする予定ですので、内容をご確認いただき、修正がある場合は、事務局までご連絡をください。

それでは、以上をもちまして、府中市学校教育プラン検討協議会を終了させていただきます。長時間にわたりお疲れさまでした。

以上